



Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第143号 2021年1月発行

## 巻 頭 言

### 所 感

一般社団法人群馬県作業療法士会 会長 新井健五  
(介護老人保健施設ミドルホーム富岡)

新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け延期されていた「臨床実習指導者講習会」を、年末にようやく開催することができた。企画運営に尽力をしていただいた養成校連絡協議会の方々にご参加いただいた皆様にはこの場をお借りして深く感謝申し上げたい。

『学生は、極めて近い将来のわれわれ(作業療法士)の仲間であり、県士会員(協会員)となってくれる存在である』これが、学生に対する私の基本認識であり、向き合う際の基本姿勢である。ゆえに、県士会としても、学生との接点(臨床と卒前教育との接点)をより大事にし、充実させなければいけないと考えているのである。県士会組織として養成校連絡協議会を創設したのも、学生会員制度も制定したのも、そのために他ならない。今回、この講習会を県士会(予算)で開催すべしとしたのもそれゆえだ。臨床実習は、まさしく臨床と卒前教育との接点そのものだからである。「実習はそもそも養成校の問題。なぜ県士会が金まで出して行うのか?」という率直な声もある。しかし、職能に連なる問題に職能の団体が尽力せずしてどうするのか? 臨床実習の問題に、われわれ臨床家は他人事でいてはいけないと思うのだ。

この講習会の受講が臨床実習指導者要件として適用となるのは2020年度の入学生からなので、2021年度の2年生の実習、2022年度の2年生及び3年生の実習、2023年度以降については2年生以上のすべての臨床実習が対象となる。すなわち、もう今年から影響が出だすのだ。じつは、当県の整備状況は、全国でもワーストといってよいほどに危機的な状況にある。何よりも、臨床実習指導者が足りなくて学生が路頭に迷うような事には絶対にさせてはならない。今後も、経験年数要件が達している者は全員が受講済みとなるということを目指して開催をしていきたいと考えているので、未来の仲間のために、ぜひとも積極的な受講をお願いするとともに、先輩や上司の立場にある方々には、部下の方々の受講に奨励とご理解を賜るようお願いするものである。

さて、話は変わるが、私が何か人に指導をする際にベースとしているのが「スーパービジョン(SV)」の理論である。そして、その中で大事にしているのが「パラレルプロセス」という概念だ。ちなみに、私がSVについて初めて学んだのは、わが国に「ケアマネジメント」を導入していくにあたって、当時の厚生省が各県から指導者となる者を選抜招集して養成講習を行った時まで遡るのでもう30年近くも前のことになる。

「パラレルプロセス」とは、端的に言えば、SV関係の2つのモデリング機能のことである。ひとつは、「援助関係のモデル」として、例えば、指導を受ける者(スーパーバイザーであるワーカー)は、指導者(スーパーバイザー)に話を聞いてもらったように対象者の話を聞き(聞いてもらわなかったように聞かない)、支えられたように支える(支えてもらわなかったように支えない)という現象が起きることである。もうひとつは、「(将来の)スーパーバイザーのモデル」として、スーパーバイザーも将来は後輩や部下ができスーパーバイザーとなるわけだが、その時の「指導姿勢」や「態度」は、自分が受けてきたSVがモデルとなるということである。つまりは、『されたこと(してもらったこと)は、自分がする立場になったときに、同じようにしようとする』ということだ。ゆえに、あなたが“今”行う実習指導のあり方(姿勢)が問われるのである。

あなたが、(実習生に対し)「1人の人間として尊重しその場にいることを認め、孤立させない(前号:長谷川氏の「巻頭言」参照)」ことを大切に実習指導をしてくれるなら、きっと、あなたの指導を受けた実習生もそんな指導者・援助者になってくれると信ずるのである。

# 群馬がん作業療法研究会の 勉強会のお知らせ

1. テーマ:当院緩和ケア病棟における作業療法の現状と課題  
講師:柳井亮人(群馬県立がんセンター)
  2. グループディスカッション:日々のがん作業療法の臨床・研究について
- ◎日 時 2021年3月5日(金)19:30~21:00  
◎会 場 オンライン会議(参加希望者にオンライン会議参加URLを送ります。)  
◎締め切り 2021年2月28日  
◎連絡先 kenkondoot@gmail.com 近藤健(群馬大学大学院保健学研究科)



## 第54回 日本作業療法学会に参加しました

特定医療法人博仁会第一病院 片山 ありさ

今回私は第54回日本作業療法学会にてポスター発表をさせていただきました。新型コロナウイルスが流行して次々とイベントが中止になっていく中、こうして無事に発表することができ、とてもうれしく思います。初めてのWEB形式での学会ということでどんな風になるのか緊張していましたが、実際に始めてみると、好きな時に好きな場所で見ることができるというのは気軽に参加しやすく、また学会の期間も約1ヶ月間と長いので、ゆっくりと楽しむことができました。私は実際に会場に行き賑わいや臨場感を味わうのも好きでしたが、このような形式はより多くの人に参加してもらうには良い方法だと感じました。

今回の学会発表に至るまで、私は1年見学、1年実践という形で学術研究グループの勉強会に参加させていただきました。臨床で手一杯になり、研究に関して全く知識がなかった私ですが、夜間に月1回というペースと、困った時にいつでもメールで相談を受け付けてくださるスタイルは私に合っており、最後まで成し遂げることができました。ここまで面倒を見てくださった学術部の方や一緒に学会発表を目指して頑張ってきたメンバーにはとても感謝しております。これからもここで得た知識や経験を活かしていきたいと思います。

### 《OT学会の予定》

2021年:宮城(予定)

2022年:京都(予定)

学術研究グループは、研究デザイン、文献検索、統計処理、抄録作成、スライド・ポスター作成、プレゼンテーションの支援をさせていただきます。ご興味のある方はぜひご連絡ください

担当:李・近藤(群馬大学)・佐藤(榛名荘病院)

連絡先:kenkondoot@gmail.com



▲共著者、職場の皆様との写真撮影

# 群馬県作業療法士会 令和2年度第2回理事会議事録

日 時：2020年10月21日(水) 19:00～21:00

Zoom使用でのリモート会議

参加者：新井、関根、山口、柴田、市川、今村、小此木、勝野、高坂、都丸、山浦、李、高橋 13名

## I. 会長より

コロナ禍の状況が変わらない中で、他団体が会費減額や研修会無料等の対応の検討をしている様ですが、当会はどうするか？会費は取ってても何もしていないと思われまいようにしていく事が必要。

⇒ 各部の活動は今までと同じ様に行っており、移動時間や費用がかからず行える。zoomになってむしろ活動が活発になっているところもある。また、会費の上げ下げについては根拠が必要と思われる。今までと同じ研修会に関しては同額徴取を、今までにないものを行うなら無料で行うのはいかかか？

## II. 各部議事

### 1. 教育部[報告者:勝野]

#### 【報告事項】

1) 会議 ブロック長会議 コロナウイルス流行のため、メールで随時審議を実施。

8/25、9/29にzoomを使用しリモート会議実施。

#### 【検討内容】

1. 2020年度 新人症例発表会について

→ 2021年2月21日開催決定。場所は高崎市総合福祉センター。開催方法について検討中。

対面式の研修会となるため、非接触式体温計・手指消毒液・マスクなど備品の準備を開始。

2. 2020年度 現職者選択研修(精神領域)について

→2021年1月31日にzoom研修を実施。zoom運営場所は群馬医療福祉大学6階教室の使用の許可を頂く。

講師：

「精神障害作業療法の基礎知識」→高坂理事(群馬医療福祉大学)

「精神障害作業療法の展開方法」→高坂理事

「精神障害作業療法関連のトピックス」→梶間先生(群馬県立精神医療センター)

3. zoom研修会のマニュアルについて

→教育部で参加者用のマニュアルを作成中。ひな形は完成したので10月中旬での完成を目指す

運営マニュアルは他県士会(新潟県士会)のマニュアルを参考資料とする。

4. 生涯教育システム稼働、生涯教育手帳の電子化移行について

→手帳への押印は七日市病院に郵送窓口を設置。約10件の郵送があり随時対応中。

5. 東毛ブロック長の後任について

→2021年度から館林厚生病院の須田先生が東毛ブロック長へ就任。

### 2) 研修会報告

#### 1. 【現職者選択研修(精神領域)】

2021年1月31日 時間：未定(9:00～17:00予定)

会場：zoom研修

(運営会場：群馬医療福祉大学6階)

講師：「精神障害作業療法の基礎知識」→高坂理事(群馬医療福祉大学)

「精神障害作業療法の展開方法」→高坂理事

「精神障害作業療法の実践」→加藤先生(原病院)

「精神障害作業療法関連のトピックス」→梶間先生

(群馬県立精神医療センター)

#### 2. 【新人症例発表会】2021年2月21日

時間：未定(9:30～16:00予定)

会場：高崎市総合福祉センター

#### 【審議事項】

##### 1. zoomアカウントについて

教育部の会議とzoom研修会の際に県士会の有料アカウントを使用させて頂きたい。 → 承認

### 2. 地域作業療法推進部[報告者:高坂]

#### 【報告事項】

##### 1) 地域包括ケア推進グループ

1. 7月9日に第3回WEB会議を実施し、地域包括ケア推進に関する人材育成研修会開催に向けた検討を行った。

2. 8月8日(土) 13:30～17:30 地域包括ケア人材育成研修会へ、高坂、小澤、山口の3名で参加した。

3. 9月3日「令和3年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業(介護分)」の要望書について県地域包括ケア推進室へ提出した(415,000円)。

4. 9月24日 日本作業療法士協会地域包括ケアシステム推進委員会主催「地域支援事業に資する人材育成研修会(第3回WEB 研修会)」に先立ち、関東静岡ブロックミーティングに小澤、榊原、山浦が出席した。

5. 10月3日 日本作業療法士協会地域包括ケアシステム推進委員会主催「地域支援事業に資する人材育成研修会(第3回WEB研修会)」に真塩、榊原が出席した。

6. 11月29日(日)9時から12時「コロナ禍における地域支援事業への参画に関する研修会」をWeb方式で実施予定。

##### 2) 認知症支援推進グループ

1. 8月3日に「健康増進のためのワンポイントアドバイス vol.6」を発行した。

2. 8月26日 県内の認知症関連の対応について、日本作業療法士協会制度対策部保険対策委員会へ資料を提出した。

3. 9月3日「令和3年度群馬県地域医療介護総合確保基

金事業(介護分)」の要望書について県介護高齢課へ提出した(877,000円)。

4. 9月15日に群馬医療福祉大学にて第3回会議を実施し、10月に予定している「認知症ケア資質向上のための研修会①」の運営調整や県内各種事業所に対しチラシの発送作業を行った。

5. 9月11日付で、10月に予定している「認知症ケア資質向上のための研修会①」の後援について群馬県より承諾を得た。

6. 10月4日現在までに、10月に予定している「認知症ケア資質向上のための研修会①」の広報依頼(HP掲載等)を実施し、群馬県の認知症の人と家族の会、看護師会、理学療法士会、介護福祉士会から広報協力の承諾を得た。

7. 10月に予定している「認知症ケア資質向上のための研修会①」を対面式で実施するにあたり、感染対策として、収容人数の制限(定員300⇒150名)、感染防御(マスク着用、手指消毒、使用備品の消毒など)連絡体制の整備(参加者の連絡先の調査)、健康管理(検温、自覚症状・渡航歴の調査等)などについて参加者に協力を得ながら開催できるように準備を進めている。

#### 3) 精神科領域推進グループ

1. 9月11日に令和2年度第1回メンタルヘルス情報交換会を企画・実施し、養成校指定規則や実習形態の変更について情報交換を行った。

#### 4) 発達支援推進グループ

1. 9月10日に定期勉強会をオンラインで開催した。参加者16名。今年度の実施計画と今後の勉強会の方向性の検討を行った。次回は11月12日(木)18:30から開催予定である。

2. 11月に予定していた保育士向け研修会は今年度の中止を決定した。次年度の開催については対面式が望ましいが、オンラインでの開催も想定してオンラインシステムの契約なども今後検討していく。

3. 群馬県教育委員会と群馬県理学療法士会と協議を行い、今年度の外部専門家配置事業はオンラインもしくは電話のみの実施で決定し、要項の作成について意見をあげた。10月より派遣依頼を受け付ける。

#### 【審議事項】

1. ZOOMアカウント使用者の権限について。可能であれば、グループ長レベルでも使用可能にしたい。→理事から各グループ長へ伝える。

### 3. 養成校連絡協議会[報告者:高坂]

#### 【報告事項】

1) 令和2年度臨床実習指導者講習会(都道府県講習会)について

現在、今年度の参加者募集を終え、今後、参加者の決定等引き続き準備を進める。

#### 【審議事項】

上記講習会に関わる、県士会・県PT協会・リハ学校協会間の情報共有方法についてどうするか?

→ 県PT協会とは申し合わせをしているが、リハ学校協会からは詳しく来ていない様子みていく。

### 4. 学術部[報告者:李]

#### 【報告事項】

県士会における学術支援活動を行なった。

#### 【審議事項】無し

#### 1) 学術研究グループ

#### 【報告事項】

1. 今年度の学術研究グループの勉強会を現在までに3回開催した。

2. 8月28日にかん作業療法の臨床と研究について勉強会を開催し、5施設10名の作業療法士が参加した。

#### 【審議事項】無し

#### 2) 学会支援グループ

#### 【報告事項】

1. 令和3年度開催予定の第23回群馬県作業療法学会に向けてマニュアルなどの更新作業を行った。

#### 【審議事項】無し

#### 3) 機関誌編集グループ

#### 【報告事項】

1. 2020年度機関誌の投稿論文募集継続中。

#### 【審議事項】無し

### 5. 運転と作業療法特設委員会[報告者:李]

#### 【報告事項】

1) 研究会、教習所関係者との交流会の開催時期は未定。リモートにて委員との打ち合わせを予定。

#### 【審議事項】無し

### 6. 地域局

#### 1) 西毛ブロック[報告者:山浦]

#### 【報告事項】

1. 「第2回医療介護連携フェスティバルin高崎」中止に伴う代替事業への参加

フェスティバルの主催者である高崎市医療介護連携相談センターのHP上に医療・福祉の職能団体紹介を行うこととなった。広報部と連携して群馬県作業療法士会の紹介文書を作成中。

2. 高崎市社会資源ガイドブックにおける「訪問リハビリテーション」の文章内容の校正を行った。

#### 【審議事項】無し

#### 2) 北中毛ブロック[報告者:小此木]

#### 【報告事項】

1. メーリングリストの修正・加筆を行った。

2. 新型コロナウイルス感染症の影響により集まりは困難な状況で主任者会議は実施しない方向。

3. 県士会、ブロック支部活動に関わる情報発信は適宜行う。

#### 【審議事項】無し

#### 3) 東毛ブロック[報告者:今村]

#### 【報告事項】

1. 太田市自主グループ支援事業に関して

- R3.1月・2月開催予定 講師派遣に関して講師確定、広域支援センターと開催にあたって内容調整を行った。
2. 県士会、ブロック支部活動に関わる情報発信は適宜行った。
3. 主任者会議開催は感染予防のため見送った。

【審議事項】無し

## 7. 広報部[報告者:都丸]

【報告事項】

### 1) 公益事業グループ

1. コロナウイルスの完成拡大による影響から例年開催していた広報活動は全て実施できておりません。現状を考えると今年度はイベント等での広報活動は難しいと考えております。SNS等を利用し、今できる広報活動を進めていきたいと考えております。
2. Facebookへの掲載内容など、気楽な内容でも結構ですので、広報部までご連絡ください。

### 2) ニュース編集グループ

1. 現在、10月号の発行準備中。月末には配布予定です。内容については実習指導・後進育成を軸に群馬大学付属病院の長谷川先生に巻頭言執筆を依頼しました。素晴らしい内容なのでぜひ一読ください。
2. 次回は年明けの1月号。記事を募集中ですのでぜひご協力をお願いします。
3. ニュースのあり方や意義について、今後の課題として対応を模索中です。

### 3) 広報企画グループ

1. コロナウイルスの影響により今年度の活動は行えていません。引き続き他部と協力しリーフレットの改定等の情報収集等を行っていきます。

【審議事項】無し

## 8. 福利厚生部資料[報告者:市川]

【報告事項】

### 1) 群馬県作業療法学会に向けた審査基準や審査方法について

現在、県学会の審査基準や方法の確立に向け、学術部との話し合いを検討している。

福利厚生部小田俊一が学術部と日程調整を行い、日程が決まり次第、検討を始めていく。

1. 今回福利厚生部として、県学会の審査基準や方法の確立に向けて福利厚生部としての意見をまとめた。

#### ①一次・二次審査の審査基準について

今後、県学会の基準を全国レベルにしていきたいという方向性では、福利厚生部としても検討していきたい。

一次審査については、日本作業療法学会での審査基準を基に、学術部として意図を持った審査基準を設けていただけるように、福利厚生部も支援していきながら、群馬県士会の発展に寄与できたらと考えている。

二次審査については、以前から会長より提案頂いている内容(作業療法としての独自性など)をいれた内容での審査基準を設けていく。

#### ②一般演題の査読と一次審査を同一者が行うことの是非について

査読者と審査者が同一人物になることでのメリット、デメリットを確認。

・メリットとして、効率性の向上が図られ、締め切りから学会誌の製本までの期間の中でスムーズに行える。審査者の選定を行う手間が省ける。

・デメリットとして、査読者が審査を行うことでバイアスが加わり、審査の公平性が担保できない

(例:査読者はお互いわかることで審査基準を緩くし一次審査を通したり、発表者も査読者へ審査を通るように図ったりなど)

福利厚生部にて数年間検討してきたが、答えが出てきていなかったため、学術部との話し合いの中で、上記内容を検討し来年度の県学会でシステムを確立していく。

#### ③マニュアルについて

学術部との話し合いの中で審査基準や方法を決定し、理事会での審議にかけていきたい。

### 2) RFL(リレーフォーライフ)の動画リレーについて

群馬県健康づくり財団(RFL主催団体)がホームページ上アップしている動画は18件である(10/16現在)。多くは病院や企業での動画が多い状況。

作業療法士会として、コロナ禍において、各病院の県士会員が集まり動画を作製していくことは難しいと考えている。

【審議事項】

1)今年度のリレー動画の作成は見送り、来年度以降の参加を検討していくので良いか → 承認

2)リレー動画の作成方法について妙案があればご教授いただきたい。→

※作業療法士会で参加する場合の検討している内容です。職能団体の中では、リモート画面での動画(群馬県薬剤師会)やアニメーションと写真での動画作製(群馬県臨床工学技士会)とコロナ禍での工夫もされていますが、群馬県理学療法士協会など動画をアップしていない団体もみられます(職能団体としては4団体参加しています)。

福利厚生部として、参加する場合は、作業療法士会として、RFLの参加様子の写真をスライドショーにして、最後ががん患者へのどのような支援を行っていくかを説明し、バトンを渡すという流れになるかと思えます。

## 9. 事務局[報告者:高橋]

【報告事項】

### 1) 事務局パソコンについて

発注済み。納品は10/22の予定、来次第セッティングし使用していく。

2) 事務局シュレッダー購入しました。

3) Zoomのアカウントを県士会にて取得した。

【審議事項】

1) Zoom今後の運営の仕方について、以前タイムツリー等の使用案が出ていたが、Zoomの中のスケジュールでは管理ができないか? →各グループ等で重ならない様Zoom内のスケジュールで管理していく。

# 特集記事!!

今号では、貴重なお時間を割いて頂き、一般社団法人 交通事故被害者家族ネットワークをはじめとして、多方面にてご活躍されている岡村康子先生に、活動報告と団体の紹介など、大変貴重な記事を執筆して頂きました。

他職種の先生や他団体で活躍されている先生のお話は大変貴重と思います。ぜひ拝読して頂き、関心を深めて頂けたらと思います!



## 【岡村 康子先生のご紹介】

群馬県内在住。警察職員や損害保険会社などでの調査係を経て、被害者側での活動を目指し、一般社団法人 交通事故被害者家族ネットワークのスタッフに。現在は、群馬県内で唯一の高次脳機能障害家族会である、NPO法人 ノーサイドにも支援者としてかかわっていらっしゃいます。

重度後遺症(重度脳損傷や脊髄損傷による寝たきり、高次脳機能障害、四肢切断など)や死亡事故などの被害者のサポートを行い、各地の被害者団体や高次脳機能障害支援機関、家族会と繋がりながら、介護や自立支援への橋渡しを行っていらっしゃいます。

## 「交通事故と高次脳機能障害をテーマにした オンライン講習会を開催」

(一社)交通事故被害者家族ネットワーク 岡村康子

当会は交通事故の被害者及び被害者家族に寄り添いながら、悩み苦しんでいる方の一助になればという思いで2012年に設立し、多くの方々にご協力をいただきながら歩んでまいりました。事務局は都内にございますが、私自身は群馬県内在住で、NPO法人ノーサイドのお手伝いもさせていただきながら、平素より医療関係者様や高次脳機能障害にかかわる関係者様に大変お世話になっております。

今回は、交通事故被害者家族ネットワークで開催しました、2020年度の講習会についてご報告させていただきます。

当会では例年、関東各地で集合形式の無料講習会を年間10回以上開催してきましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で催事が暫く中断し、年末によろやくオンライン配信による講習会を開催することができました。

内容は下記のとおりで、何れも交通事故と高次脳機能障害がテーマです。(講師の先生方は各分野で著名な先生方ですので、ぜひネット検索等してみてくださいませ。)

## 【2020年度 講習会開催内容】

11月29日 (日曜日)	<ol style="list-style-type: none"> <li>古田 兼裕 氏 (交通事故弁護士全国ネットワーク 代表弁護士) 「交通事故による重度脳外傷患者の具体的な救済援助と法律上の手続き」</li> <li>橋本 圭司 氏 (はしもとクリニック経堂 院長) 「高次脳機能障害との上手な付き合い方」</li> </ol>
12月12日 (日曜日)	<ol style="list-style-type: none"> <li>古田 兼裕 氏 (同上)</li> <li>船越 政範 氏 (栃木県立リハビリテーションセンター リハビリテーション科・診療部長兼科長) 「交通事故後に生じる高次脳機能障害と支援～評価と診断書～」</li> <li>栃木県障害者総合相談所 発達・高次脳機能障害支援課 「栃木県における高次脳機能障害の支援について」</li> </ol>
12月20日 (日曜日)	<ol style="list-style-type: none"> <li>古田 兼裕 氏 (同上)</li> <li>渡邊 修 氏(東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科教授) 「交通事故後に生じる高次脳機能障害の理解とその対応」</li> </ol>

今回はYouTubeによる無料配信での講習会ですので、国立障害者リハビリテーションセンターの高次脳機能障害情報・支援センターのイベント情報に掲載依頼するとともに、関東各都県の高次脳機能障害支援センターさんや家族会、関係機関にご案内させていただき、各回とも100件前後の申込みをいただきました。

講師の先生方のご講演では、弁護士の先生からは「交通事故の手続きや労災等の制度、治療や介護、後遺症と賠償との関係」、高次脳機能障害の専門医の先生方からは「評価と診断書作成にかかわる留意点」、「交通外傷による脳損傷では前頭葉が損傷しやすいこと」、「実態調査の結果から、家族が困るのは注意障害、社会的行動障害、遂行機能障害の部分であるといえること」、「社会脳を鍛える方法」等々のお話がありました。多数の方が視聴されていたこともあり、オンタイムでの質疑応答はかないませんでした。きつと聴講された方々のご記憶に残る講習会になったのではないかと思います。

また、私は毎年運営スタッフとしてこうしたご講演を拝聴しておりますが、今回改めて、交通外傷による高次脳機能障害の場合は疾病の方とは異なり症状の出方は複雑で、介護や社会復帰の判断や様々な手続きが絡み合うことで、当事者やご家族のご苦労はいかばかりかと思えました。ふだん、交通事故や労災の話をする機会は少なく、嫌煙されがちなテーマかと思えますが、交通事故の家族会としましては、被害者をサポートする観点から、ぜひ多くの方に予備知識をもって治療や支援に携わっていただけたらと思います。

最後に、当会のご紹介をさせていただけるこの様な機会をくださり感謝申し上げます。今後も引き続き、講習会とともに交通事故の被害者のサポートを行ってまいりますので、皆様からご協力いただければ幸いです。

### 【ご案内】

当会では啓蒙・啓発として講習会を開催するほか、各地での講演も無料で対応しております。また、上記講習会配信映像や資料は記録用として保存しており、貸出し可能です。ご興味のある方はご連絡くださいませ。担当:岡村(090-7714-1862)

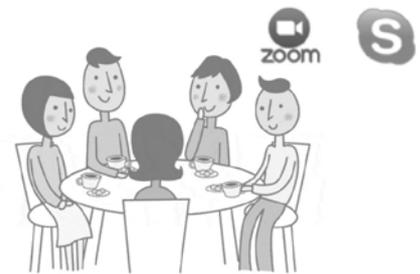
# （一社）交通事故被害者家族ネットワークの活動紹介

当会では啓蒙・開発としての講習会や会報発行のほか、以下のような活動を行っており、被害者の方のみならず、医療や福祉の専門職の方、行政機関の方からも問合せをいただいております。

## ① 家族同士の情報交換やピアサポート

- ・同じような経験をした先輩家族との情報交換
- ・職場とのか、仕事のこと
- ・辛い気持ちを聞いてほしい
- ・何かから手をつければ良いかわからない
- ・味方になってくれる人が欲しい
- ・事故のこととどう向き合えば良いのか教えてほしい
- ・家族を支える者同士の仲間がほしい

直接お会いすることが難しい場合には  
各種オンライン面談が可能です。

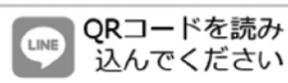


## ② 交通事故にかかわる諸手続きのご案内

- ・加害者への対応のこと ・ 損保会社とのこと
- ・警察や検察庁とのこと
- ・大怪我を負ったが過失が大きそうだ
- ・刑事裁判のこと ・ 民事裁判のこと
- ・治療費のこと ・ 労災保険のこと ・ 健康保険のこと
- ・生活の補償のこと ・ 障害年金のこと
- ・症状固定のこと
- ・成年後見制度のこと
- ・地域の相談機関のこと
- ・介護のこと ・ 住宅改修や福祉用具のこと



電話やメールに加え、公式LINEでも  
ご相談を受付けられます。



ご相談は無料に対応しており、関係機関からの助成や当会の活動に賛同くださった方からのご浄財で運営しております。

## 一般財団法人榛名荘 榛名荘病院

榛名荘病院は榛名湖イルミネーションや今年はコロナ禍の影響で開催が見送られました。榛名山ヒルクライムなどでも賑わう榛名山の南麓にあり、自然豊かな環境で、病院の窓からは四季折々の風景を楽しむことができます。

作業療法士は現在26名のスタッフが共に働いています。病院以外に同法人のはるな脳外科、介護老人保健施設あけぼの苑、あけぼの苑高崎、訪問リハビリテーション事業所榛名荘でも作業療法士が勤務しています。病院は一般病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟があり、また介護老人保健施設や訪問リハビリテーションでの対応などを通して、急性期の作業療法から生活期の作業療法までの作業療法を提供させて頂いています。それぞれの時期の患者様、利用者様へのアプローチを通して学ぶことのできる環境でもあります。また、PT、STスタッフと共に地域リハビリテーション広域支援センターの活動も行わせて頂いており、介護予防の取り組みについても実施させて頂いています。

榛名荘病院の特徴の1つとして、病棟担当制によるチームアプローチでのリハビリテーションがあると思います。もちろんリハビリテーションはチーム医療ですが、病棟毎にPT、ST含め、医師、看護師・介護士、栄養士等のスタッフがチームとして患者様への対応を行わせて頂いています。最近の取り組みとして、回復期リハビリテーション病棟では脳血管疾患や整形疾患の患者様に対して、体重や栄養状態の評価を定期的の実施しつつ、栄養士や調理師などとも協力してリハ栄養の取り組みを強化して実施しています。また、当院には脊椎脊髄病センターが併設されており、脊椎脊髄外科の医師による手術も行われており、脊椎脊髄疾患の患者様へのリハビリも実施させて頂いています。作業療法場面では頸椎症性脊髄症や後縦靭帯骨化症の患者様の術前・術後のリハビリを対応させて頂いたり、最近では側弯症や変形性脊柱症の術後の患者様のADL面での介入なども実施させて頂いています。

榛名荘病院リハビリテーション部のフェイスブックや地域リハビリテーション広域支援センターの動画配信も行っていますので、もしお時間がありましたらご覧になってみてください。



## 花あかりで働く理学療法士 ・作業療法士を大募集!!

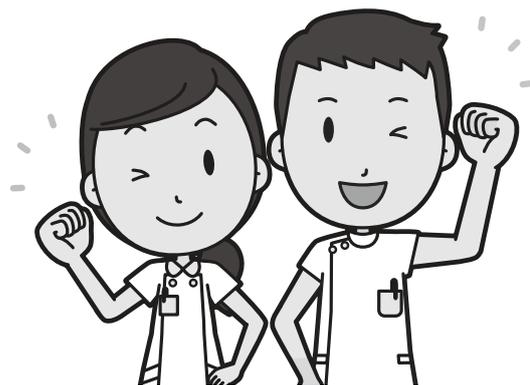
訪問看護ステーション花あかりでは、看護と連携しながらより効果的なリハビリを追求し、生活に必要なリハビリ支援や保険外のサービスまで、自宅や介護施設に生活しながらも、より本人らしい質の高い生活のためにあらゆる支援を行っています。対象疾患は脳血管障害(急性期～維持期)、整形疾患(上肢、脊髄、下肢)、内部障害(呼吸循環、腎臓リハ)、神経難病、がん終末期、認知症、精神疾患など幅広く対応しています。また地域における体操教室や勉強会など、行政や地域包括支援センターと連携しながら各種セミナーなども開催しています。

花あかりでは子育て中の女性職員、女性セラピストも活躍中です！経験年数の浅い方も大歓迎！バイタルサインの理解と急性期～慢性期までのリスク管理、症状のとらえ方、フィジカルアセスメントまですべてお伝えします！

- ◎募集 理学療法士、作業療法士
- ◎勤務形態 正社員(非常勤は要相談)
- ◎勤務時間 8:30～17:30、週休2日、年末年始
- ◎給与 年俸360～430万円(経験加算あり、各種手当別途、各種認定資格保持者・急性期経験者優遇します)



〒376-0121  
群馬県桐生市新里町新川715-11  
ファミリアイマイE号室  
TEL:0277-51-3124  
採用担当:村井まで



## 理学療法士・作業療法士 有資格者募集

業務内容:通所リハビリと入所でのリハビリ業務  
勤務時間:月～金 9:00～18:00(休憩75分)  
土曜 9:00～13:00(一日勤務あり)  
給与:経験等考慮の上法人規定に準ずる  
待遇:各種保険、退職金、賞与年2回(4.5ヶ月)  
休暇:日祝、有給休暇、夏季休暇、年末年始  
創立記念日、産休育休、介護休暇

応募方法:まずは電話にてお問合せ下さい 担当:岡田、岩田

医療法人三省会 介護老人保健施設 希望の苑  
〒373-0829 群馬県太田市高林北町1138  
TEL. 0276-38-1912

# 投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した・・・などなど、皆様からの投稿を募集しております。

どんなことでも構いませんので、お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス: dc\_nanohana@yahoo.co.jp  
広報部: ニュース編集グループ  
反町拓海

県士会ホームページアドレス

<http://www.gunma-ot.org/>

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては益々ご活躍のことと思います。新型コロナウイルスの感染拡大がいまいち収まりきらぬ年明けで、早々の終息を願うばかりです。

本年も少しでも会員の皆さまに役立つニュースになるよう努力して参りますので、一層のご協力をお願い致します。

S

## 群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 反町 拓海 編集委員 || 関 仁紀、下田 幸、辻 千鶴子、大脇 宗雅 印刷 || 星野印刷株式会社